

授業実践（8）小学校3年生「命あるかぎり生きる」

1 主題名 せいっぱい生きる【内容項目D-(18)生命の尊さ】

2 教材名 「命あるかぎり生きる」(『私たちの道徳 小学校3・4年』)

3 教材のあらすじ

本教材は、平成10年6月28日に5年半に及ぶ病気とのたたかひの末、11歳という若さでこの世を去ってしまった宮越由貴奈さんが、小学4年生の時に院内学級の授業で感じたことを書いた詩と院内学級でのエピソードである。「命」という詩では、死の不安に負けない強い決意が述べられている。

4 ねらい

由貴奈さんの生き方にこめられた思いを感じることができ、周りの人のために今生きている自分にできることをしていこうとする態度を育てる。

5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 児童の発言(・) 補助発問(●)
自己を見つめる	<p>1 「せいっぱい生きる」ことについて考える。</p> <p>【書く活動①】</p> <p>◆今の自分はせいっぱい生きているかどうか考えさせ、全体の傾向を可視化するためにネームプレートを黒板に貼らせる。</p>	<p>○「せいっぱい生きる」ためにはどんなことをすればよいと思いますか。</p> <p>・感謝して食べる。 ・栄養をつける。 ・自分を大切にする。</p> <div data-bbox="587 996 850 1193" style="text-align: center;"> </div> <p>●自分が書いたことや友達の意見を見て今の自分がどのくらい「せいっぱい生きているか」考えて、ワークシートに□を書いてみましょう。書けた人からネームプレートを黒板に貼りましょう。</p>
	<p>2 由貴奈さんの詩やエピソードを読み話し合う。</p> <p>◆詩の内容をより深く理解させるために詩を読む前に、病気のことや院内学級について簡単に説明する。</p> <p>◆由貴奈さんの院内学級での様子を知らせるため、担任の先生が書いたエピソードを黒板に掲示し、範読する。</p>	<p>○由貴奈さんがこの詩で伝えたかったのはどんなことだと思いますか。</p> <p>・命は大切。 ・電池と違って命は取り換えられない。</p> <p>・命を無駄にしてはいけない。 ・精一杯生きよう。</p> <p>●この中でも一番伝えたかったのはどれだと思いますか。</p> <p>・精一杯生きよう。</p> <p>●とても前向きですがそんな気持ちだけだったでしょうか。</p> <p>・不安な気持ちもあった。</p> <p>●それはどうしてですか。</p> <p>・もしかしたら死んでしまうかもしれないと思っていたから。</p> <p>●実際に由貴奈さんが院内学級でどのように過ごしていたのか紹介します。これは、院内学級の担任の先生が書いた話です。</p> <p>○由貴奈さんはどんな気持ちで行動していたと思いますか。</p> <p>・みんなが笑顔になれるように。 ・自分も安心したい。</p> <p>・みんなの命も守りたい。 ・友達に死んでほしくない。</p> <p>・みんな早く治ってほしい。 ・みんな病気に負けないで。</p>

今より「せいっぱい生きる」ために自分にできることを見つけよう

自分の考えを広げ、深める

【話し合い】

◆自分の考えを広げ、深めさせるためにワークシートに記述した後、グループと全体で考えを交流する。



由貴奈さんは、いろんな思いをもっていたんだな。

●由貴奈さんが言う「せいいっぱい生きる」とはどんな生き方だったと思いますか。

- ・みんなのためにできることをしていきたい。
- ・自分も大切にしたい。

●「みんな」とはどんな人たちのことですか。

- ・友達 ・赤ちゃん ・家族 ・先生



●由貴奈さんは、こんなたくさんの人達のために「せいいっぱい生きよう」と思っていたんですね。こんな由貴奈さんをどう思いますか。

- ・すごいと思う。 ・自分も由貴奈さんみたいになりたい。

◆今生きていることの尊さを感じさせ、自分にできることを考えさせるため、プレゼンテーションで由貴奈さんは亡くなってしまったことを伝える。



●今、由貴奈さんはどうしていると思いますか。これを見てください。

●残念ながら由貴奈さんは、もう「せいいっぱい生きる」ことはできません。では、みんなはどうでしょうか。

- ・生きている。
- ・精一杯生きることができる。

3 「せいいっぱい生きる」ためにできることについて考える。

【書く活動②】

◆授業の前より「せいいっぱい生きていきたい」という気持ちの高まりを可視化するためネームプレートを裏返して貼り直させ、数名に発表させる。



- ・自分の命を大切にする。
- ・みんなのことを考える。
- ・精一杯友達を大切にしたい。



4 「たすけ合って生きる」の範読を聞く。

◆これからの自分にできることの実践意欲を高めるため、プレゼンテーションで日野原さんの簡単な紹介をした後、範読をする。

○最後にみんなの大先輩の日野原重明さんの話を紹介します。由貴奈さんの生き方も思い出しながら聞いてください。



これから自分を考える

[授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
 - ・導入において、同じ内容項目で行った前時の授業を想起させ、その時のワークシートの記述を基に発問を設定したことで、自分が考えていたことを振り返ることができたと考えます。
 - ・これまでの自分の生活の中での経験や体験を基に「精一杯生きる」ためにどんなことをすればよいかを考え、記述することができていました。
- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
 - ・自分の考えと友達の考えを比較しながらグループで話し合うことができ、友達の考えをワークシートに記述することで、自分の考えを広げることができました。
 - ・全体での話し合いでは、由貴奈さんの行動がどれだけ多くの人の心を温め、元気にしていたのかを問い返していくことが、児童の考えを深めていくことにつながっていたと考えます。
- 「これからの自己を考えることができたか」について
 - ・周りの人達のために精一杯生きた由貴奈さんの気持ちを感じることで、今生きている自分の命の尊さを感じ、周りの人達のために自分にできることを考え、ワークシートに記述することができていました。
 - ・授業前よりも精一杯生きていきたいという気持ちの高まりをネームプレートの位置で表したことで、自分だけでなくクラス全体の気持ちの高まりを可視化することができました。